

投票受付中!

第5回

あなたが選ぶ

かごしま景観大賞

県HPはコチラ
「かごしま景観大賞」で検索



鹿児島県内にある良好な景観を保全・創出するための活動をしている個人又は団体を表彰します

皆さんの投票結果も踏まえて、審査会によりあなたが選ぶかごしま景観大賞を決定します

特典

鹿児島県の特産品
(5千円相当)

抽選でプレゼント!

※Instagramでの投票は対象外です

投票方法

良好な景観の保全・創出に寄与していると思う活動に投票してください(1人1回まで、複数選択可)

投票期間

R7年11月11日(火) ▶ R7年12月11日(木)

投票場所

●展示会場

- 鹿児島県庁1階(最終日は17時まで)
- イオンモール鹿児島2階 YogiboStore付近(最終日は15時まで)

●インターネット



●Instagram



投票対象一覧

活動内容の詳細は、県HPやインターネット(投票ページ)、Instagramで確認できます!

1 西大山駅の菜の花



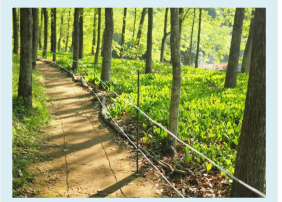
5 前野展望台



2 大野岳の麓 茶や、



6 すずらの里



3 宮人川ビオトープ
(あつたらし村)



7 島の薬草長寿ガーデン



4 頰娃町郡地区の
コスモス畑



かごしまPRサポーター
さくらじま

鹿児島県地域政策課

投票受付中！



審査までの流れ



① 応募（6月～8月頃）



② 聞き取り・現地調査
（9～10月頃）



③ 投票審査（11月～12月頃）



④ 審査会による審査（12月頃）



⑤ 表彰（2月頃）

今回

第4回景観大賞 受賞



屋久島シドッティ上陸地
展望タワー

周囲の自然風景と調和したシドッティ上陸地展望タワーの建設、周辺整備



活動内容は県HPから御確認ください！



石垣群の里大当
石垣群の里の案内

吹上妙見神社と巨石群
吹上妙見神社の整備



R6	件名	活動者名	所在地
大賞	屋久島シドッティ上陸地展望タワー	NPO法人やくしま未来工房	屋久島町
優秀賞	石垣群の里大当	大当かんむっ・にいむっ会	南さつま市
優秀賞	吹上妙見神社と巨石群	長野勝悟氏、中之里地区有志	日置市

1 西大山駅の菜の花

指宿市

活動者：いぶすき広域観光推進協議会 ～西大山駅で菜の花を植栽～

活動のきっかけ 活動の内容

いぶすき広域観光推進協議会と指宿市の事業者（株式会社指宿やさいの王国）が連携し、「一足早い南国の春」をPRするためJR西大山駅で菜の花の植栽を行っている。

協議会の事業として、JR西大山駅と池田湖で菜の花の植栽を行っており、特にJR日本最南端駅である西大山駅は多くの観光客が訪れる人気スポットで、開聞岳と菜の花の景観を楽しむことができる。

「せごどん」という品種の菜の花を植栽している。菜の花が咲かない時期があり、4年かけて寒咲花の種類の菜の花を品種改良した。また、温暖な気候の指宿だからこそ、一足早い菜の花の景色を見ることができる。

景観のポイント

JR西大山駅から開聞岳を見たときに、菜の花が開聞岳の麓に見えるように植栽しており、開聞岳と菜の花の景観を同時に楽しむことができる。

菜の花の品種改良と、温暖な気候の土地であることを背景に、一足早い菜の花の景色を楽しむことができる。



株式会社指宿やさいの王国
が植栽を実施（委託）

10月下旬頃 種まき

↓
発芽後の管理として、除草作業などを2ヶ月ほど実施

↓
例年12月下旬から2月上旬まで開花



12月



1月

投票受付中！

2 大野岳の麓 茶や、

南九州市

活動者：大野岳の麓 茶や、
地域の農業関係者

～大野岳で農村体験を提供～

活動のきっかけ 活動の内容

NPO法人顔娃おこそ会と、地元茶農家グループ茶寿会（現在は解散）が連携して、お茶のおもてなし交流拠点として空き家を整備した。

大野岳の麓茶や、として運営を引き継いでおり、**地元農家と連携しながら、農村体験の場を提供している**。知覧茶にゆず、しょうが、とうもろこしなどの季節の食材を合わせた**オリジナルブレンドティー作りを体験できる**。希望により、**野菜の収穫体験も**。農泊施設（泊まれる茶畑）やレンタルスペースとしても利用できる（改装中のため宿泊は休業.10月時点）。

景観のポイント

一面に広がる美しい茶畑の風景を眺めながら、農村体験を楽しめる。ベストシーズンは鮮やかな黄緑の新茶の時期（4月頃）。

空き家の活用と農業の活性化、観光との連携により、農村景観の保全につながっている。

追加で改装を実施。“茶畑の緑”と“空の青”が一番映えるよう、外壁等の塗装を焦茶にしており、周囲の景観とも調和している。



白を基調とした手作りの内装

茶畑がより鮮明に見える

デッキでの朝食
茶畑を眺めながら



3 宮人川ビオトープ(あったらし村)

伊佐市



古代種の大賀ハス
種を回収するなど、在来種との棲み分けに注意して管理。



在来種のハス



紅葉シーズンに実施。曾木発電所遺構を間近に体感できる。

活動者：特定非営利活動法人
バイオマスワークあったらし会
～宮人川ビオトープの維持・管理～

活動のきっかけ 活動の内容

宮人川ビオトープは、大鶴湖に流れ込む宮人川の両岸に整備された、棚田方式の水質浄化施設。鶴田ダム管理所より、NPO法人バイオマスワークあったらし会が管理委託を受けている。

ビオトープに生息する生き物などを学べる**環境学習の場**として活用している。ビオトープ内でハスなどの植栽をしており、**在来種の白いハスにくわえて、一回り大きく赤みのある古代種の大賀ハスを植栽している**。害虫、外来種（植物）対策を行いながら管理。

ビオトープ周辺の活動として、**大鶴湖での遊覧船事業や宮人川の清掃活動**などを実施している。

景観のポイント

宮人川などの水質環境を守るために、国により人工的に設けられたビオトープを活用し、水辺の景観を創り出している。夏（7月）の開花時期には、ハスの白と赤の色鮮やかな景観を楽しむことができる。

遊覧船事業では水上から景観を体験できる場となっている。

投票受付中！

4 穎娃町郡地区のコスモス畑

南九州市

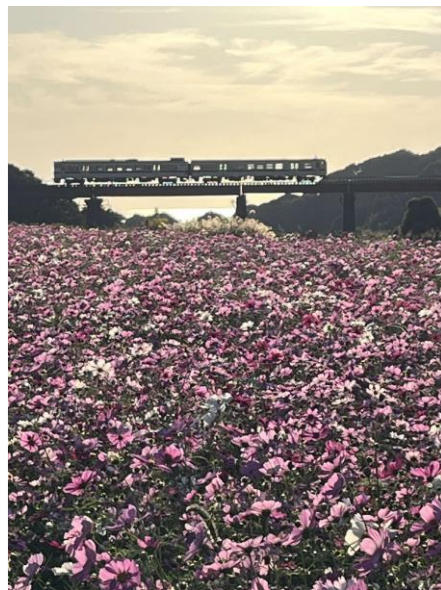
活動者：浜田・大見堂地区管理組合
～コスモス畑の風景づくり～

活動のきっかけ 活動の内容

浜田・大見堂地区管理組合は、耕作放棄地をなくすため、田んぼや用水路の保全や維持を行うために設立された団体。

組合員の一人が、県内で見たコスモス畑の美しい景色に感動し、穎娃町郡地区にある**自身の耕作地にコスモスの種を蒔いた**ことが始まり。他の組合員も、この取組に賛同し、秋になると一帯にコスモスが植えられるようになった。普段はお米を作っている田んぼがほとんどで、8月に早期米を収穫後、9月上旬に日にちを合せて一斉にコスモスの種蒔きを行い、辺り一面のコスモス畑を創出している。

コスモスのシーズン中は、**観光客に散歩を楽しみながらコスモスを観賞していただけるよう、郡地区公民館周辺に臨時駐車場を設けている。**



景観のポイント

コスモス畑と列車の美しい景色を撮影できるスポットとなっている。写真と反対方向には、コスモス畑とともに地元の大野岳が眺望でき、地域の自然景観とも調和している。

訪れる人々のために、コスモス畑周辺の草刈りなどを行い、撮影できるスペースを作るなどの配慮もなされている。偶然にも作り出された列車とコスモス畑の珍しい景観が、訪れる多くの人を魅了している。

列車とコスモスの美しい景色を撮影できるスポットに。10月下旬から11月上旬頃に見頃を迎える。

ヒマワリも植えており、場所によっては、コスモスとヒマワリと一緒に眺めることができる。

5 前野展望台

天城町

活動者：前野集落

～前野展望台の整備～

活動のきっかけ 活動の内容

県道沿いのこの場所は、前野集落の共有林が生い茂っている場所だった。前野集落の住民の一人が、**素晴らしい景色に魅力を感じ、木を伐採して整備を始め、住民有志もそれに加わった。**整備された展望台は、集落の名前をとって、前野展望台と名付けられた。

展望台自体の景観を向上させるため、周囲にアジサイ70本を植栽した。一部のアジサイは野生動物による被害でなくなりましたが、動物対策を講じたり、花の剪定作業を行いながら、現存するアジサイを守っている。

展望台からは、天城町を見渡すことができ、**見晴らしを維持するために、定期的に崖下や周囲の木を伐採している。**また、**展望台も含めた集落内の清掃活動**を行っている。

景観のポイント

清掃活動や伐採作業などを積極的に行い、集落住民の手によって、展望台と天城町の美しい眺めが守られている。

展望台からは、空港に発着する飛行機や、近くの島々も見ることができる。

展望台の周囲には4月末～5月にかけてアジサイが咲き誇り、展望台自体の景観も堪能することができる。



展望台からの景色
(天城町のほとんどを見渡せる壮大な景色が広がる)

安全対策のためのパイプ手すりや、名所を掲載した風景パネル、台や椅子代わりにする岩を設置。

投票受付中！

6 すずらの里

伊佐市

活動者：富ヶ丘自治会「すずらん同好会」
～すずらの里の維持・管理～

活動のきっかけ 活動の内容

すずらの里がある富ヶ丘集落は、戦後の入植でできた開拓地。入植者の1人だった純浦義雄氏（故人）が満州で見た丘一面のすずらんが忘れられないと、すずらん約1千株を県外から集落に取り寄せて植えたのが始まり。

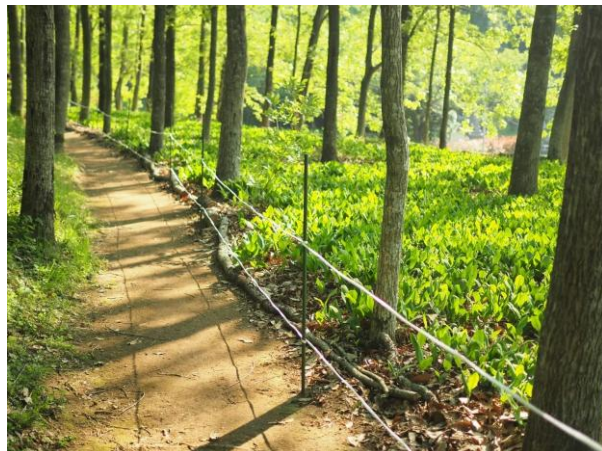
純浦氏の思いを引き継ぎ、現在は、地元住民で構成されるすずらん同好会が、除草作業や落ち葉入れ（肥料となり、雑草防止にもなる）をしながら、すずらん約1万株以上を管理をしており、4月中旬頃に見頃を迎える。

訪れる人々が安全に楽しめるよう、手作りで手すり付きの階段を設置しており、すずらの開花前には、案内板やベンチ、すずらん保護のための侵入防止テープなども設置している。

景観のポイント

先人達から学んだすずらの管理方法を受け継ぎながら、すずらんが植えられた背景や思い、訪れる人々の思いを大切にしたい景観づくりが行われている。

訪れる人々のために階段やベンチなどの園内整備が施され、花言葉で「幸せが再び訪れる」とされるすずらの景色に、心が癒やされる。



シーズン中は、開花状況を確認しつつ、動物の侵入を防ぐために、入口の開閉作業を毎日行っている。

7 島の薬草長寿ガーデンとバリアフリーな木のテラス

和泊町

活動者：特定非営利活動法人
喜楽ハーブおきのえらぶ
～薬草文化を体験するガーデン～

活動のきっかけ 活動の内容

沖永良部島の薬草文化を引き継ぎたいという思いから、喜坂三千春氏がハーブ栽培を始めたのがきっかけ。活動に賛同した仲間たちにより、NPO法人喜楽ハーブおきのえらぶが設立された。

薬草長寿ガーデンを開設し、ミントやリュウキュウヨモギ、レモングラス、アロエ、月桃など様々な種類の薬草を見て体験することができる。薬草を活用したバスボム作りイベントなども各所で開催している。

ガーデン内には、安全・安心・快適を基本に、光や風を感じられる木のテラスを設置している。高齢者と子供たちをつなぐコミュニティの場として、子どもたちの薬草体験の場や、車椅子利用者や高齢者の休憩の場として活用されている。

景観のポイント

沖永良部島の薬草文化を守り伝える活動が、地域の特色を生かした景観づくりに繋がっている。

木のテラスのパーゴラ屋根には、ゴーヤやヘチマが植えられ、そこから差し込む光や風を感じることができる。ガーデン風景や街並みと調和しており、訪れる人々がリラックスできる空間となっている。



地域住民（大工）の協力により設置された木のテラス。島の波をイメージした壁には、喜坂氏の陶芸作品を設置している。